



私のジョブズ論

9賢人の手簡

「貪欲であれ、愚か者であれ」——スタンフォード大学の卒業式に招かれた時の演説で最後にこう呼び掛けたジョブズ。偉大なカリスマであるジョブズは、われわれの掌、指先から「革命性」を実感させてくれた。その革命性とは何か。そこで本誌に登場してもらった日本のビジョナリーたちに「私のジョブズ論」をお願いし、創刊29年を迎えた本誌の哀悼特集とした。

日本初の『MACワールド日本版』を創刊した高木利弘氏。貴重な写真も提供してもらった。2005年9月にジョブズと会い、プロジェクト協業の申し出を受けた元ソニーEVPの大木充氏。15回を超えるプレゼンを聞いたジャーナリストの西田宗千佳氏。早くからMACのユーザーで、MacWorld Expo Tokyoの実行委員長を引き受けた東京大学教授の浜野保樹氏。デジタルガジェットデザインの詳しいデジタル評論家の麻倉怜士氏。超高画質技術を極めるI³研究所の社長である近藤哲二郎氏。東日本大震災被災地の情報活動の支援に動くiSSP代表理事の会津泉氏。若い世代の表現メディアとなっているニコニコ動画の杉本誠司氏。そしてメールでインタビューしたTRONプロジェクトリーダー、東京大学教授の坂村健氏の9名である。

(企画編集担当:吉井 勇・本誌編集長)

アップルの
ホームページから

